

1. 事務局

豊島修練会は、財団法人から公益財団法人に移行して7年を経過した。公益財団法人として大事にしていることは、本法人を構成している一人一人が設立目的を十分に認識し、法人自治と自己責任経営を軸に公益目的事業を推進し、その目的の実現を図っていくことである。

今後も法人自治と自己責任経営を軸に公益目的事業を推進し、この法人の目的の実現を図っていくために、引き続き次の諸点に力を入れていく。

まずは、事務局のメンバーが公益目的事業の具現化に各人の能力を発揮し、協力し合い、評議員会ならびに理事会と連携していく。

次に、評議員・理事・監事及び評議員会・理事会がそれぞれ独自の機能を発揮しつつ連携して、ガバナンス（機関運営）をより確固たるものとする。そして、法令や本法人の定款、規則・規程に基づいたコンプライアンス(法令遵守・規範遵守)を保ちつつ、日々堅実に実践していくことが重要である。

これらのことを通して、一館二荘の施設・設備に必要な補修を施すなど、適正な管理・運営を進め、本法人の趣旨の周知と利用者の拡大を図っていく。

事務局が平成 30 年度に推進した主な事柄は、次の通りである。

- (1) 平成 29 年度における豊島修練会の業務、各会計の処理、財産の運用などについての監査を平成 30 年 5 月 6 日（日）に実施した。
- (2) 第 13 回定時理事会が平成 30 年 5 月 19 日（土）に実施され、議題として平成 29 年度の事業報告及び決算の承認、第 7 回定時評議員会の日時・場所・目的である事項の決定などが取り上げられた。
- (3) 第 7 回定時評議員会が平成 30 年 6 月 3 日（日）に行われ、この会合の目的である事項として、平成 29 年度の事業の報告、決算の承認が行われた。
- (4) 平成 29 年度事業報告及び決算にかかわる書類などを平成 30 年 6 月 27 日（水）付で内閣府に電子提出した。
- (5) 第 14 回定時理事会を平成 31 年 2 月 16 日（土）に実施し、職務報告の後、議事としては平成 31 年度事業計画書案、収支予算書案、基本財産の一部処分を含む資金調達書及び設備投資の見込み案のほか、理事候補者推薦委員会の外部委員の選任や理事からの委員の選任、第 7 回臨時評議員会の日時・場所・目的に関する事項の決定などが取り上げられた。
- (6) 第 7 回臨時評議員会を平成 31 年 3 月 3 日（日）に行い、職務報告や平成 31 年度事業計画書・収支予算書などの報告があり、議事としては資金調達書及び設備投資の見込みに伴う基本財産の一部処分のほか、理事候補者推薦委員会や評議員選定委員会の委員からの選任が取り上げられた。
- (7) 平成 31 年度の事業計画書、収支予算書、基本財産の一部処分を含む資金調達及び設備投資の見込みを記した書類、第 13 回定時理事会の議事録、第 7 回臨時評議員会議事録などを平成 31 年 3 月 27 日（金）付で内閣府に電子提出した。
- (8) 本法人の経理的基盤の安定化のために、利用者の増大に努めるとともに、的確に無駄のない経費の節減を進めた。

- (9) 公益目的事業を円滑に展開していくために、職員同士はもちろん職員と利用者等との間における適時適切な報告・連絡・相談の実践に努めた。
- (10) 不特定多数の方々への広報活動として、広報誌「かけはし」の発行の他、「しゅうれん会からのメッセージ」「しゅうれんかい Q&A」「ほん・本・ブック」「利用案内のしおり」「掲示板」「ちらし」などを作成配布し、本法人が行っている事業について広く PR に努めた。

2. 成美教育文化会館を活用した事業（公益目的事業1）

会館は、地域社会における不特定多数の人の教育・文化・福祉の向上及び地域社会の健全な発展に寄与することを目的とした公益目的事業を行った。

(1) 貸室事業の推進

全体の平均稼働率は、約 39%で若干増加した（次ページの表参照）。和室の利用が大幅に増えたのは、畳の上におくことができる、和室用のテーブルと椅子を入れたことにより、利用しやすくなったためだと思われる。

平成 30 年 1 月から貸出を開始したプレイルームは、利用者が順調に増えている。

(2) 各種活動への支援

ホールやギャラリースペース、研修室などでの活動の内容をホームページで紹介したり、当会館掲示板に掲示したりして、いつどのような内容のものをやっているかを不特定多数の人々に知らせるようにした。

- ①文化芸術の振興を目的とする活動（講演会、音楽会、絵画展、写真展、その他の文化的発表会など）
- ②福祉の増進を目的とする活動（懇談会、研修会、健康診断など）
- ③健全な育成を目的とする活動（ダンス、日本舞踊、茶道、体操など）
- ④健全な発達を目的とする活動（音楽会、発表会、料理教室など）
- ⑤人間性の涵養を目的とした活動（絵画、彫刻、俳句、短歌、水墨画、合唱、囲碁将棋、書道など）

(3) 主催・共催事業の開催推進

ホールを使用し、教育・文化・福祉に係わる事業を行った。

○映画会

主として地域に住むお年寄りを対象として、東久留米稲門会と共催で無料映画会を実施した。作品の用意、ちらしの作成、当日受付などの事務的な仕事を稲門会が分担し、当会館が会場の準備と整理・片付け、機器の準備と操作・片付けなどを分担し、延べ約 1,100 名の参加を得た。

【第 1 回】平成 30 年	6 月 28 日午後 2 時～4 時	「ライムライト」	約 300 名
【第 2 回】平成 30 年	9 月 27 日午後 2 時～4 時	「サイコ」	約 250 名
【第 3 回】平成 30 年	11 月 29 日午後 2 時～4 時	「道」	約 280 名
【第 4 回】平成 31 年	2 月 28 日午後 2 時～4 時	「卒業」	約 250 名

平成30年度 貸室事業の推進

部屋		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	総計	昨年度
ホール	前		8	8	5	9	7	10	7	8	9	6	6	11	94	303	383
	後		9	8	9	13	9	13	8	13	9	13	13	12	129		
	夜		5	7	5	10	6	7	6	6	5	9	9	5	80		
ギャラリー	前		16	18	21	18	15	18	21	21	19	17	17	18	219	614	621
	後		21	18	22	19	15	22	21	21	18	18	18	21	234		
	夜		11	17	18	14	5	16	16	17	9	14	12	12	161		
会議室	前		7	6	8	7	7	9	6	7	8	5	7	6	83	138	166
	後		2	4	2	4	3	4	3	5	2	2	5	7	43		
	夜		0	3	1	0	2	0	1	3	0	0	2	0	12		
調理室	前		8	6	7	7	6	8	7	7	11	6	8	11	92	173	107
	後		1	3	5	6	6	4	8	3	7	5	8	5	61		
	夜		0	0	0	0	0	4	8	3	0	0	1	4	20		
美術 工芸室	前		6	7	6	8	4	7	8	7	5	3	2	4	67	219	247
	後		8	11	14	12	10	14	12	13	12	11	10	13	140		
	夜		2	2	2	1	1	2	0	0	1	0	0	1	12		
音楽室1	前		11	12	13	16	16	15	12	18	14	12	15	17	171	459	456
	後		19	15	19	22	16	19	20	19	17	15	17	22	220		
	夜		5	5	4	9	4	8	5	7	9	4	5	3	68		
音楽室2	前		14	13	14	18	12	14	17	10	8	8	15	20	163	483	504
	後		16	12	12	12	10	11	18	12	15	8	12	18	156		
	夜		13	14	14	14	9	13	18	14	15	12	12	16	164		
大研修室	前		4	8	8	7	2	9	6	15	10	8	8	11	96	282	275
	後		13	8	12	11	4	14	12	18	14	14	8	11	139		
	夜		5	0	4	4	3	5	3	6	5	7	3	2	47		
研修室1	前		7	10	8	6	7	9	14	15	10	10	10	9	115	354	335
	後		14	14	16	14	8	17	19	19	15	12	15	19	182		
	夜		3	5	3	4	2	6	8	8	6	5	4	3	57		
研修室2	前		4	8	5	3	4	5	11	8	5	4	4	9	70	391	404
	後		19	17	18	19	18	16	23	22	18	17	16	18	221		
	夜		9	7	8	8	8	7	13	11	8	7	7	7	100		
和室いずみ	前		9	10	11	9	9	14	11	14	11	5	13	11	127	252	137
	後		7	9	7	8	10	10	10	12	8	8	12	11	112		
	夜		0	2	0	2	1	1	2	2	0	0	2	1	13		
茶室はぎ	前		4	5	6	5	5	4	9	9	6	4	6	9	72	143	128
	後		5	4	5	5	5	6	9	4	4	5	5	7	64		
	夜		0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0	7		
プレイルーム	前		7	7	9	8	4	8	12	9	11	9	10	13	107	242	-
	後		6	4	4	7	8	7	7	5	9	4	7	7	75		
	夜		3	5	5	5	6	8	6	3	4	5	5	5	60		
計			301	313	330	344	267	364	397	394	339	293	332	379	4053		
利用枠			720	813	919	923	862	922	919	919	818	742	849	972	10378		
稼働率(%)			42	38	36	37	31	39	40	43	41	39	39	39	39		35

(4) 事業のための基礎の充実

① 経理的基礎

- ・ 各月の経理状況を比較、検討し、複数の担当者がかかわることによって、財務基盤の明確化と経理処理の適正化を図った。
- ・ 安全性を確保(施設・設備の計画的改修・修繕)するために、必要な予算を計上し計画的に執行した。
- ・ 諸経費を計り、算出を見通すとともに、定款に定められた必要な経理情報を、ホームページを通して開示した。

② 技術的能力

- ・ 貸室事業については、受付事務を当会館窓口に一本化することにより、受付の重複がないようにするとともに、ホール、ギャラリースペースについては1年前、その他の部屋については6か月前から受付を行い、計画的な利用ができるようにした。また、ホームページに掲載している空き室状況を毎日更新し、利用者の便宜をはかり、利用率の向上に努めた。
- ・ 利用者が多い金・土・日については、戸田ビルパートナーズに依頼して、技術員を常駐させるとともに、他の曜日についても、必要に応じて勤務日の振替えを活用するなどして技術員をおくことにより、利用者が安心して当会館を利用できるようにした。
- ・ 年間を通して計画的に安全点検や施設の維持管理を行うとともに、修理、補充を計画的に行い、安全で機能的な施設を利用できるようにした。また、年間を通して計画的に美化・清掃に努めるとともに、毎日の定期的な清掃と、使用後の清掃の励行に努め、安全で清潔な施設を貸与できるようにした。
- ・ 安全・安心・快適・節約にかかわり以下の事業を実施した。改築後20年以上を経過して、多岐に渡って修理・交換する必要がでてきている。

○四階西側部分照明LED化

○五階西側部分照明LED化

○給排水設備修理

○ホール右側大扉修理

○調理室等電気保温器更新

○4・5階給湯室蛇口取り換え

○ブラインド修理

○中央監視盤更新

○非常用火災受信機更新

○汚水ポンプ更新

○非常用蓄電池更新

○節電の実施 ◆夏期に2台のエレベーターのうち、1台を停止

◆廊下の電灯を一部消灯(活動に支障のでない程度)

◆洗面室の常時温水供給を停止(電気ポットをおき、必要に応じ沸かしてもらうようにした)

◆冷房の28度徹底の呼びかけ

3. 臨海学寮・林間学寮を活用した事業（公益目的事業2）（H29年度）

(1) 宿泊施設の貸室事業の推進

平成30年度の利用者数は下表の通りである。

臨海学寮（至楽荘）は、春に利用していた高校が使用を中止したため、延べ人数は減少した。日数は少ないが新たな利用客があったため、例年並みとなった。

林間学寮（一字荘）は、高校生の団体、野球チームの団体利用があったり、自主事業（親子自然体験教室）を4回から9回に増やしたりしたことで、全体の延べ人数は下表の通り増加した。自主事業の効果があった。

平成30年度の団体利用は、臨海学寮（至楽荘）は幼稚園が1園、小学校が11校、中学校が2校、大学関係3団体、子供会1団体、スポーツ関係1団体（ダンス合宿）であった。林間学寮（一字荘）は小学校が1校、大学関係2団体で、高校（郷土芸能部）1団体の利用があった。

全体利用人数は、平成29年度より増加し、寮費の収入は、約15万円増収した。これは自主事業の回数を増やしたことが影響したものと思われる。

今後は、さらに事業内容や広報活動を改善して、団体の利用を増やしたり、一般の利用者の関心を高めたりすることが課題である。

(平成24～30年度の貸室の状況)

学 寮		利用者数	延べ人数	二荘利用者の 延べ人数の合計
臨海学寮 (至楽荘)	H24年度	2 1 4 9人	4 8 9 1人	H24 7 1 0 5人
	H25年度	2 1 6 3人	5 3 0 3人	H25 7 4 3 4人
	H26年度	2 5 0 0人	5 4 5 8人	H26 7 4 2 8人
	H27年度	2 3 4 8人	5 4 3 9人	H27 7 0 1 7人
	H28年度	2 0 9 4人	5 4 5 2人	H28 7 0 6 5人
	H29年度	2 0 3 4人	5 4 7 7人	H29 7 0 5 0人
	H30年度	2 2 5 4人	5 3 2 1人	H30 7 1 4 7人
林間学寮 (一字荘)	H24年度	7 6 6人	2 2 1 4人	
	H25年度	7 2 6人	2 1 3 1人	
	H26年度	6 8 6人	1 9 7 0人	
	H27年度	5 3 6人	1 5 7 8人	
	H28年度	5 5 9人	1 6 1 3人	
	H29年度	6 1 4人	1 5 7 3人	
	H30年度	6 2 8人	1 8 2 6人	

(2) 各種活動に対する支援（団体利用者・一般利用者、宿泊訓練・野外活動等）

学寮利用者に対しては、以下のような相談・支援を充実させてきた。

- ・計画立案や利用方法などについては、今までの利用の状況などをもとに助言した。
- ・学寮での生活中に発生した問題点や改善点については、その都度対応し、具体的な対策を支援した。（団体利用については、アレルギー対応、使用する備品等についての共通理解を図った。）
- ・学寮のある千葉県勝浦市や長野県茅野市には、年度当初に係の担当者が出向き、地元関係機関との連携を深めるよう努めた。学寮を開いている期間における支援を依頼したり、地元の情報を収集したりして、利用者の便宜を図った。

(3) 主催・共催事業の推進

林間学寮（一字荘）を利用した「親子自然体験教室」を9回実施した。

- 第1回 5月2日～4日（参加者大人13名 子供9名）
- 第2回 7月14日～16日（参加者大人16名 子供13名）
- 第3回 7月21日～22日（参加者大人12名 子供12名）
- 第4回 8月4日～5日（参加者大人19名 子供14名）
- 第5回 8月11日～12日（参加者大人19名 子供12名）
- 第6回 8月13日～15日（参加者大人14名 子供14名）
- 第7回 9月8日～9日（参加者大人10名 子供10名）
- 第8回 10月6日～7日（参加者大人11名 子供10名）
- 第9回 10月13日～14日（参加者大人6名 子供8名）

活動内容の充実と、参加者の負担軽減のために、独立行政法人国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金」の助成金を申請し、補助金の交付を受けた。平成29年度と違った体験内容を準備し、さらに親子で自然に親しめるような事業を工夫していった。活動内容については、参加者の高評価を得た。

(4) 事業推進のための基礎の充実

① 経理的基礎

- ・公益目的事業2の運営に、寮費、賛助会員の入会金と年会費を当てた。本年度の賛助会員は、前期617人・後期616人となり、平成25年度（743人・750人）から減少し、平成29年度でその傾向が収まり、継続している。
- ・共通会計より資金を繰り入れ、設備管理や修理等を円滑に進めた。」
- ・経理処理は、豊島修練会事務局の経理担当職員と吉田税務会計事務所（小林弘明税理士）が連携して担当し、複数体制で内容確認を行った。
- ・予算、決算ともに、開示対象として、ホームページにも公開している。

② 技術的能力

- ・貸室事業については、豊島修練会事務局の職員が担当し、運営管理した。ホームページで空き室状況を表示し、自主事業についてはメールで予約できるようにした。
- ・学寮としての適切な管理にあたるため、管理人（至楽荘：清水章次、一字荘：今井美富士）を配置している。両人とも学寮の近隣に居住する者で、人柄もよく利用者への支援が行き届いた。また、学寮の環境整備や安全な食事等の提供などに努め、その対応は利用者から好評価を得ている。
- ・学寮の貸室事業を円滑に進めるために、安全面・衛生面では、まず、寝具はレンタルにして、常に清潔なものを使用できるようにした。また、アレルギー対応のための寝具の用意にも配慮した。一字荘にはAEDをレンタルで常設した。
- ・次頁の表の通り学寮の設備・施設の充実を図り、利用者が快適に荘生活を送れるように取り組んだ。臨海学寮は、平成29年度に続き荘全体の建具の補修を行った。

	定期的な設備管理	修繕・更新など
臨海学寮 (至楽荘)	<ul style="list-style-type: none"> ◇消防設備保守点検 ◇ボイラー定期点検 ◇貯水槽清掃・水質検査 ◇浄化槽保守点検、汚泥抜き ◇害虫駆除 ◇冷凍冷蔵庫保守点検 ◇厨房内や雨樋の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的室空調機設置 ・食堂温水器回りの整備 ・休憩室空調機更新 ・放送用卓上型アンプ更新 ・魚焼き物機の更新 ・浴室修繕 ・全体の建具修繕 ・ゲストハウス空調機更新 ・ボイラー給湯配管修繕 他
林間学寮 (一字荘)	<ul style="list-style-type: none"> ◇受水槽清掃 ◇消防用設備保守点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・サッシ網戸修繕 ・浄化槽蓋交換 ・階段ホール照明工事 (LED) ・浴室換気扇更新 他

二荘ともに、経年劣化による修繕は今後も続くものと思われる。計画的に実施していかなくてはならない。

4. 成美教育文化会館の一部の賃貸事業（収益目的事業1）

地域社会における不特定多数の人の教育、文化及び福祉の向上、及び地域社会の健全な発展に寄与することを目的とした公益目的事業活動を安定的に維持していくため、収益目的事業を行った。

(1) 成美教育文化会館の一部を長期に渡って貸し出している団体や法人

- ① 平日午前中のホールを、学校法人なでしこ学園に貸与し、なでしこ学園は体育的活動や行事等で使用している。
- ② 4階東側部分を教育センターとして東京都東久留米市に貸与し、東久留米市は事務室、教育相談室、適応教室、教育相談などに使用している。
- ③ 1階受付横の小部屋を株式会社クルメディアに貸与している。
クルメディアは平成30年6月30日「FMひがしくるめ」を開局し、平日は9時～22時、土日は9時から18時まで放送している。
- ④ 5階西側部分を進学塾エッセンシャルアカデミーに貸与し、エッセンシャルアカデミーは小・中学生の進学塾教室として使用している。
- ⑤ 平成30年8月より4階西側部分を(株)4 TUNEに貸与し、4 TUNEは事務所として使用している。

(2) 賃貸料の活用

成美教育文化会館の賃貸で得た料金は、会館の利用者一人一人が安全で有益な活動ができるようにするための、施設・設備などの維持・管理に活用した。

(3) 今後の課題

5階東側部分が未入室となっているので、今後収益事業が安定的に行えるよう、新たな貸出先を見つける努力を続けている。

5. 正味財産増減計算書内訳書

公益財団法人 豊島修練会
自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月 31日

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用収入	(27,430,928)	(5,924,305)		(33,355,233)	(19,374,000)	(19,374,000)			(52,729,233)
各室利用収入	25,725,663			25,725,663	19,374,000	19,374,000			45,099,663
土地貸付収入	1,705,265			1,705,265					1,705,265
寮費収入		5,924,305		5,924,305					5,924,305
② 運用財産収入	(346)	(61)	(5,644,379)	(5,644,786)					(5,644,786)
受取利息	346	61	5,644,379	5,644,786					5,644,786
③ 会費収入		(6,703,750)		(6,703,750)			(6,703,750)		(13,407,500)
入会金・会費収入		6,703,750		6,703,750			6,703,750		13,407,500
④ 贈収益	(4,302,889)	(2,600)		(4,305,489)	(2,381,865)	(2,381,865)			(6,687,354)
雑収入	4,302,889	2,600		4,305,489	2,381,865	2,381,865			6,687,354
経常収益計	31,734,163	12,630,716	5,644,379	50,009,258	21,755,865	21,755,865	6,703,750	0	78,468,873
(2) 経常費用									
① 事業費	(72,143,524)	(37,562,478)	(540)	(109,706,542)	(38,167,347)	(38,167,347)			(147,873,889)
役員報酬	9,300,000			9,300,000					9,300,000
給料手当	2,562,719	3,895,000		6,457,719					6,457,719
福利厚生費	10,171			10,171					10,171
光熱水費	6,666,438	3,944,505		10,610,943	3,333,219	3,333,219			13,944,162
印刷製本費	68,980			68,980					68,980
消耗品費	1,134,853	903,509		2,038,362					2,038,362
賃借料	691,708	2,970,557		3,662,265					3,662,265
支払保険料	225,118	404,560		629,678	172,858	172,858			802,536
修繕費	3,908,467	2,495,242		6,403,709	543,759	543,759			6,947,468
租税公課	5,934,208			5,934,208	4,556,624	4,556,624			10,490,832
渉外費		80,200		80,200					80,200
旅費交通費	409,808	65,237		475,045					475,045
通信運搬費	175,100	327,411		502,511					502,511
減価償却費	30,526,772	20,626,419		51,153,191	23,435,033	23,435,033			74,588,224
委託報酬料	1,924,499			1,924,499					1,924,499
会議費	2,683			2,683					2,683
設備管理費	4,057,550	1,424,970		5,482,520	3,115,618	3,115,618			8,598,138
清掃管理費	3,515,696			3,515,696	2,699,552	2,699,552			6,215,248
警備管理費	404,611			404,611	310,684	310,684			715,295
衛生費		82,371		82,371					82,371
廃棄物収集費	157,950	338,321		496,271					496,271
雑費	466,193	4,176	540	470,909					470,909
予備費									
② 管理費							(6,188,138)		(6,188,138)
役員報酬							2,670,000		2,670,000
福利厚生費							1,270		1,270
光熱水費							1,111,073		1,111,073
印刷製本費							7,664		7,664
消耗品費							141,697		141,697
賃借料							76,856		76,856
支払保険料							4,020		4,020
修繕費							10,008		10,008
租税公課							105,968		105,968
渉外費							147,116		147,116
旅費交通費							273,206		273,206
通信運搬費							19,456		19,456
減価償却費							590,027		590,027
委託報酬料							824,785		824,785
会議費							10,732		10,732
設備管理費							72,456		72,456
清掃管理費							62,780		62,780
警備管理費							7,225		7,225
衛生費									0
廃棄物収集費									0
雑費							51,799		51,799
予備費									0
経常費用計	72,143,524	37,562,478	540	109,706,542	38,167,347	38,167,347	6,188,138	0	154,062,027
当期経常増減額	-40,409,361	-24,931,762	5,643,839	-59,697,284	-16,411,482	-16,411,482	515,612	0	-75,593,154
II 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計									
(2) 経常外費用									
法人税・住民税及び事業税							70,000		70,000
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	70,000	0	70,000
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	-70,000	0	-70,000
他会計振替額	6,809,287	4,000,000	-11,125,920	-316,633		0	316,633		0
一般正味財産期首残高	1,457,258,880	280,569,066	-99,161,328	1,638,666,618	684,253,054	684,253,054	20,238,674		2,343,158,346
一般正味財産期末残高	1,423,658,806	259,637,304	-104,643,409	1,578,652,701	667,841,572	667,841,572	21,000,919	0	2,267,495,192
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額									0
指定正味財産期首残高									0
指定正味財産期末残高									0
III 正味財産期末残高	1,423,658,806	259,637,304	-104,643,409	1,578,652,701	667,841,572	667,841,572	21,000,919	0	2,267,495,192

6. 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特にない。